

# えともん No.89

行動する  
はつらつたる  
商工会議所



かんちゃん

青函トンネル開通記念博覧会

## 青函博

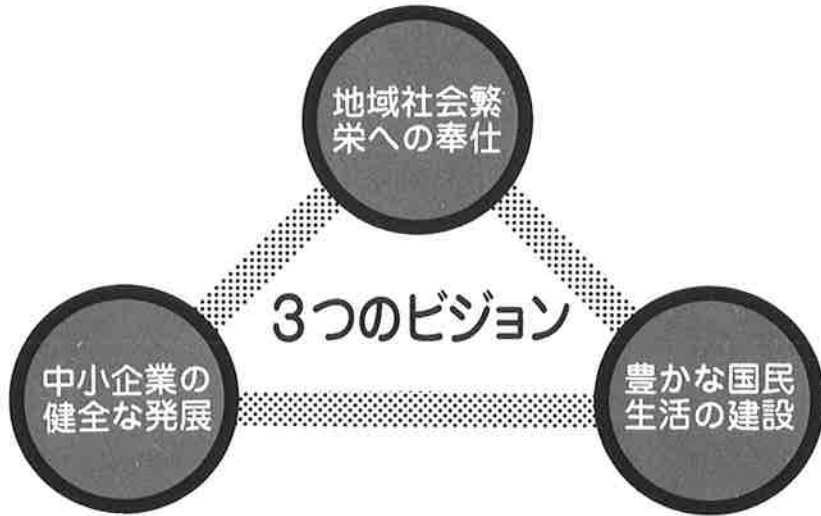


## 函館EXPO'88

- 会期/昭和63年7月9日⇒9月18日
- 会場/函館市井天町地区

■ 函館商工会議所報 ■

# 1988 8月号



はこしんは豊かな暮らしと  
 確かな未来の実現に  
 お手伝いいたします。



本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241代

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247代	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820代
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221代	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711代
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236代	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL73-2151代
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511代	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL84-2111代
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL26-3646代	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501代
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238代	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121代
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492代	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611代
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521代			

視点	1
会議所の動き	2
本所共済制度のご案内	6
地域の景気	8
調査レポート	10
アドバイスコナー	14
Q & A	16
青函博コーナー	18
ご案内	22

# 青函博 函館EXPO'88 特集

(P18~P21)

※今月号は「特別寄稿」「ティータイム」を休ませていただきます。

## ● 視点

八月に入ってどうやら例年並の夏の気候となりました。日照時間も少なく寒い位の七月の気候がもう少し続いたら、農作物にも大きな影響が出るころでした。

地域の景況については、引き続き好調裡に推移しているとの日銀支店の報告もあり喜ばしい限りです。

会期もあと残すところ三十日たらずとなった青函博も、八月に入って気温が上昇するとともに客足も伸び、連日開催されるイベントともども好評を博しています。中にはイベントに焦点をあわせ、博覧会の入場料はイベントの入場料と割切って、自分の好きなアイドルやイベントのために何回も入場している若者もいるとのこと。

地域経済の振興のために青函博というイベントが計画され実行されたことはご承知のとおりですが、やはり地域の活性化のためには、自らが参加するという心構えが大切です。外側でなんだ、かんだと批判しているだけでは決して活性化はできません。理屈をいう前にとにかく参加してみようという気持が活性化につながると思います。

幸い今年には市民の協力で野外劇「五稜星よ永遠に」も無事に公演することができましたし、一万人踊りパレードも過去最大の一万三千人の参加を見ることができました。

青函博に代わるような大イベントは、函館では今後恐らく数十年間はないでしょう。そこでただ一観客として行くのではなく、自らがこの催しに参加しているのだという立場で、もう一度青函博へ行ってみようではありませんか。



# 本所 一 号 議 員 選 挙 目 程

ことしは当商工会議所議員改選の年にあたります。

三号議員（十五人）、二号議員（三十五人）の選任は、先月号及び今月号でお知らせのとおり、既に決定しておりますが、一号議員の選挙は、次の日程で行われますのでご承知下さい。

◎ 一 号 議 員 の 選 挙 (定数五十人)

- ・ 一 号 議 員 選 挙 告 示 〓 九 月 一 日
- ・ 立 候 補 届 出 受 付 〓 昭 和 六 十 三 年 九 月 二 日 从 同 十 二 日 まで

・ 選 挙 人 名 簿 確 定

昭 和 六 十 三 年 九 月 十 七 日 を も っ て、選 挙 権 を 有 す る 会 員 及 び 特 定 商 工 業 者 が 決 ま り ま す。

・ 選 挙 人 の 資 格

○ 会 員 〓 昭 和 六 十 三 年 九 月 十 七 日 (土) 正 午 まで に 会 費 年 額 を 納 入 し た 会 員。

○ 特 定 商 工 業 者 〓 昭 和 六 十 三 年 九 月 十 七 日 (土) 正 午 まで に 負 担 金 を 納 入 し た 特 定 商 工 業 者。

工業者。

・ 選 挙 権 の 個 数

○ 会 員 〓 会 費 の 負 担 額 に 応 じ、次 の と お り 選 挙 権 を 有 し ま す。

- ・ 一 口 会 員 从 五 十 口 会 員 は、一 口 に つ き 一 個 宛。
- ・ 五 十 口 以 上 の 会 員 は 五 十 個、但 し、会 員 で あ る 特 定 商 工 業 者 は、前 記 の ほ か 更 に 一 個 の 選 挙 権 を 有 し ま す。

○ 特 定 商 工 業 者 〓 会 員 以 外 の 特 定 商 工 業 者 は 一 個。

・ 被 選 挙 人 (立 候 補)

○ 資 格 〓 昭 和 六 十 三 年 九 月 十 二 日 (月) 現 在 で 選 挙 権 を 有 す る 会 員 に 限 り ま す。

○ 受 付 〓 届 出 期 間 中 (縮 切 は 九 月 十 二 日 (月) 午 後 五 時 まで) に、所 定 の 届 出 用 紙 に 記 入 の 上 届 け 出 願 い ま す。

○ 辞 退 〓 立 候 補 を 辞 退 さ れ る 場 合 は、昭 和 六 十 三 年 九 月 十 九 日 まで に 文 書 で 届 け 出 願 い ま す。

工業者。

・ 投 票

○ 日 時、場 所 〓 昭 和 六 十 三 年 九 月 二 十 七 日 午 前 九 時 从 午 後 五 時 まで。場 所 本 所。

○ 選 挙 方 法 〓 単 記 無 記 名 投 票。

○ 開 票 〓 即 日 開 票

○ 当 選 〓 有 効 投 票 の 多 数 を 得 た も の の 順 に よ り 決 定 し ま す。

(注) 但 し 立 候 補 者 が 定 数、又 は 定 数 に 満 た な い 場 合 は 即 日 無 投 票 当 選 と な り ま す。

## 議 員 選 挙 ・ 選 任 日 程

昭和63年	
9月1日(木)	1号議員選挙告示
2日(金)	1号議員立候補届出受付開始
8日(木)	選挙人名簿縦覧告示
12日(月)	立候補届出締切日
17日(土)	選挙人名簿確定日
15日(木)	選挙人名簿縦覧期間(異議申立期間)
~23日(金)	
19日(月)	1号議員立候補辞退最終日
20日(火)	選挙入場券発送
27日(火)	1号議員選挙日(開票)、無投票即日当选告示
30日(金)	1号議員確定日
10月5日(水)	当选辞退最終日

**\* お 知 ら せ \***

本年は本所議員改選の年であることから、来る九月二十七日には一号議員五十人の選挙が行われますが、被選挙権(立候補)を付与されるのは規定により来る九月十七日まで会員の会費(年額)を納入した会員が有します。また、選挙権も会員の会費(年額)や特定商工業者負担金を、それぞれ納入した事業所が有することになりますので、この点ご留意願ひ、出来る限り早い時期に会費及び負担金を納入されるようお願ひ申し上げます。

# まつりの鼓動を青函博に

函館のまつりの中でも代表的な箱館五稜郭祭、高田屋嘉兵衛まつり、函館港まつりが、七月中旬から

八月初めにかけて相次いで開催され、先月九日開幕した「青函博」に因んだ各種イベントで、華やかな函館の夏を彩りました。

当時の様子を史



▲パレード参加の本所婦人会  
パレードの先頭をゆく本所川田会頭▶



実に基いて再現する歴史祭として知られている第十九回箱館五稜郭祭が、今年は青函博への協賛のため七月十五日から三日間にわたって開催されるとともに、まつりの呼び物の維新行列も市内でのパレードを終えた後、シャトル船で青函博メイン会場へ上陸、お祭り広場での開港セレモニーで幕末の「維新絵巻」を披露し、訪れた入場者を楽しませていました。

## 連絡船活用案を提出

旧国鉄・青函連絡船の活用策について、去る六月十三日より検討をすすめてきた各方面の有識者七名で構成する連絡船活用問題懇談会（座長・本所平野専務理事）が、計七回にわたる協議を重ね、八月十七日市長に報告書を提出し

また、第十三回高田屋嘉兵衛まつりも七月二十三日から二日間にわたり開催され、二十三日の市内宝来町の嘉兵衛像前での顕彰、慰霊式では、新造された嘉兵衛の故郷である兵庫県淡路島五色町に伝わる壮麗な「布団壇尻」山車の初披露なども行われました。

一方、開港百三十年を記念する函館港まつりの最大のイベント、一万人踊りパレードでも武者バイク行列やねぶた、クライマックスのイカ踊りなどが夜遅くまで繰り広げられました。今年は過去最高の九十一団体、一万三千人が参加して、かつてない盛り上がりを見せ、いずれも青函博の人氣と相俟って盛大なまつりとなりました。

懇談会は、八十年の歴史をもつ青函航路を航行した最後の連絡船を、母港の函館に何とか残せないものかというところで、種々検討を重ねてきました。

その結果、函館港のモニユメン



ト的な存在として、できる限り原形のままの保存を基本として、連絡船の歴史的資料館を主体に軽食喫茶施設等を併設することが、案としてまとまりました。

但し、この案でも黒字が当面期待できないこともあり、事前の資金対策や係留場所としての若松ふ頭などの将来計画との関係など、今後早急に解決しなければならぬ幾つかの大きな問題も残されています。



# 事務局日誌

7月

- \*常議員会  
15(金) 第9回常議員会
- \*正副会頭会議  
15(金) 第56回正副会頭会議  
25(月) 第57回正副会頭会議
- \*会議 (日商)  
12(火) 代表専務理事会議  
〃 規模別商工会議所専務理事懇談会  
13(水) 第42回全国商工会議所専務理事・事務局長会議  
20(水) 議員商工会議所専務理事懇談会  
〃 第100回運営委員会  
〃 第8回中小企業・税制合同委員会  
21(木) 第2回観光・地域振興・国民生活合同委員会  
〃 第364回常議員会  
29(金) 税制改革に関する説明会
- \*会議 (道商連)  
6(水) 第5回金融税制委員会・中小企業委員会合同委員会
- \*審査会  
6(水) 小企業等経営改善資金の審査会  
26(火) 〃 〃
- \*諸会議  
2(土) 函館空港ビルデング(株)取締役会  
〃 青函博前夜祭打合せ会議  
4(月) 所報「ともえ」No.88(7月号)編集会議  
5(火) 1990年度日本青年会議所全国大会主幹立候補現地調査懇談会  
〃 特定地域中小企業金融連絡会議  
6(水) 婦人会例会  
14(木) 成功させよう青函博の会イベント部会  
15(金) 八戸商工会議所振興委員との懇談会  
〃 昭和63年度倒産防止特別相談事業推進打合せ会議  
16(土) 第67回北海道印章組合連合会定時総会  
18(月) 酒田商工会議所婦人会と本所婦人会との懇談会  
19(火) 第2回繊維卸・青函交流会  
20(水) 箱館奉行所復元促進期成会幹事会  
21(木) 昭和63年度全国異業種交流函館大会  
22(金) 第6回全国法人会総連合会員大会  
25(月) 婦人会例会  
27(水) 函館市情報公開制度懇話会  
〃 函館経営者協会幹事会  
28(木) 地域づくり東日本交流会函館大会実行委員会  
〃 箱館奉行所復元促進期成会役員会・総会  
〃 昭和63年度第2回小規模企業振興委員連絡会議  
29(金) 青函インターブロック交流圏構想推進協議会専門部会  
〃 自衛隊協力会、第11師団管区連合会昭和63年度定期総会の開催に伴う連絡会議

- \*講習・催物  
7(木) 記帳講習会  
7(木)・8(金) 第22回東北六県観光まつり  
9(土)～9月18(日) 薄命の詩人 石川啄木展  
13(水)～18(月) 道南一村一品ふるさと物産夏まつり  
14(木) 記帳講習会  
15(金) 第35回秋冬物函館靴履物卸合同見本市  
17(日) 第41回函館地区珠算競技大会  
20(水) 発明相談  
21(木) 記帳講習会  
22(金) 法律相談  
30(土)～8月28(日) 世紀末の華バルギーのオール・ヌーヴォー展

- \*検定試験  
10(日) 第7回3級ワープロ検定試験  
13(水) 第22回3級販売士検定試験
- \*刊行物  
20(水) 所報「ともえ」No.88(7月号)発行
- \*相談・診断  
金融 133 税務 258 経理 9 経営 36  
労働 6 取引 0 その他 1 計 443
- \*貸室  
本館 17 別館 6
- \*文書  
受信 283 発信 18
- \*慶弔・その他  
1(金) 函館港開港130年記念式典  
2(土) 七重浜温泉健康センター「スバビーチ」竣工式・祝賀会  
〃 野又学園創立50周年記念式典・祝賀会  
4(月) 七重浜温泉健康センター「スバビーチ」落成祝賀パーティー  
〃 経営指導員研修  
5(火) 北海道テレメックセージ(株)営業開始披露パーティー  
6(水) 函館北ロータリークラブ創立25周年碑除幕式  
〃 バンダ到着祝賀会  
8(金) 三越函館竣工修祓式・直会  
〃 青函博「三菱パビリオン」開館式  
〃 「BAYはこだて」オープニングセレモニー  
〃 日本航空「JAL BOX in 函館」開設披露  
〃 青函博前夜祭  
〃 中国物産館・ワールドバザール販売スタッフ研修会  
9(土) 青函博開会式  
〃 青函博バンダ会場開会式  
〃 ハリファックス市長観迎夕食会  
11(月) 北海道料理飲食業環境衛生同業組合第17回全道大会  
〃 経営指導員研修  
13(水) 函館環境衛生(株)創業30周年記念式典並びに汚泥処理施設落成記念祝賀会  
14(木) 北海道造船関連工業団体交流大会  
15(金) 第19回箱館五稜郭祭記念式典(前夜祭)  
16(土) 昭和63年度函館市勤労青少年優良者表彰式  
17(日) フランス・ルビディョ野外劇団歓迎会  
18(月) 藤沢商工会議所建設部会研修視察団本所訪問  
19(火) 河北新報社「21世紀へのまちづくり」研修会  
〃 日本航空民営化披露レセプション  
20(水) 新千歳空港開港式・祝賀会  
〃 「第48回 海の記念日」記念式典並びに海事関係功労者表彰式  
23(土) 第13回「高田屋嘉兵衛まつり」顕彰・慰霊式・祝賀会  
26(火) 広中平祐氏歓迎レセプション  
27(水) 北海道運輸局長との交歓午餐会

## 美しい港町、函館のお泊りは

全国旅館同業組合連合会員  
函館観光協会々員

ビジネス  
旅 館

静 香  
しずか

- 函館駅より徒歩7分
- 空港よりタクシーで15分
- 繁華街に位置し朝市観光・買物に便利な宿です
- 出張員・長期滞在歓迎します
- 駐車場あり
- ご宿泊料2食付5,000円より

〒040 函館市新川町6番11号  
電話 (0138) (代) 23-2725番  
27-3980番  
ファックス 23-3610番



いずれか一つを選択願います。

- (1) 10年確定年金
- (2) 15年確定年金
- (3) 10年保証終身年金

コ、脱退一時金の支払い

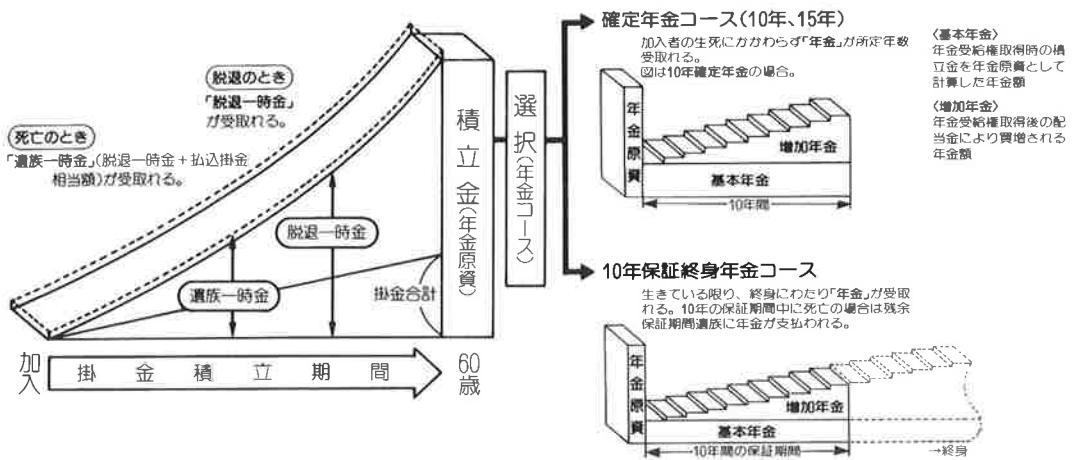
満55歳未満で脱退したとき、または年金に代えて一時金を希望したときにお支

払いいたします。

サ、遺族一時金の支払い

積立期間中に死亡した場合、積立金相当額に1回分の払い込み掛金相当額(月払=1カ月分、半年払=半年分)を加算してお支払いいたします。

## 函館商工会議所年金共済のしくみ



### 加入例

\* 下記の給付額は生命保険会社の昭和63年度支払配当率(年8.00%)に基づく配当増額を含め、月払について年間総掛金28,800万円で函館商工会議所事務費用3%とした場合の仮定数値。

◎30歳(男性)で月払に5口(月額1万円)加入の場合

積立期間中	積立完了	年金の受取り	毎年の年金月額 (10年確定年金の場合)																																		
<p>①40歳(加入後10年)で脱退のとき</p> <p>掛金合計 <b>120万円</b> → 脱退一時金 <b>約172万円</b></p>	<p>◎60歳(加入後30年)で積立完了のとき</p> <p>掛金合計 <b>360万円</b></p> <p>↓</p> <p>年金原資 <b>約1,346万円</b></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年金期間</th> <th>基本年金月額</th> <th>年金受取総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10年確定</td> <td>約 14.12万円</td> <td>約 1,965万円</td> </tr> <tr> <td>15年確定</td> <td>約 10.51万円</td> <td>約 2,375万円</td> </tr> <tr> <td>※10年保証終身</td> <td>約 9.80万円</td> <td>約 2,768万円</td> </tr> </tbody> </table>	年金期間	基本年金月額	年金受取総額	10年確定	約 14.12万円	約 1,965万円	15年確定	約 10.51万円	約 2,375万円	※10年保証終身	約 9.80万円	約 2,768万円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経過年数</th> <th>年金月額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年目</td><td>約 14.12万円</td></tr> <tr><td>2年目</td><td>約 14.55万円</td></tr> <tr><td>3年目</td><td>約 15.00万円</td></tr> <tr><td>4年目</td><td>約 15.48万円</td></tr> <tr><td>5年目</td><td>約 15.98万円</td></tr> <tr><td>6年目</td><td>約 16.50万円</td></tr> <tr><td>7年目</td><td>約 17.05万円</td></tr> <tr><td>8年目</td><td>約 17.65万円</td></tr> <tr><td>9年目</td><td>約 18.29万円</td></tr> <tr><td>10年目</td><td>約 19.10万円</td></tr> </tbody> </table>	経過年数	年金月額	1年目	約 14.12万円	2年目	約 14.55万円	3年目	約 15.00万円	4年目	約 15.48万円	5年目	約 15.98万円	6年目	約 16.50万円	7年目	約 17.05万円	8年目	約 17.65万円	9年目	約 18.29万円	10年目	約 19.10万円
年金期間	基本年金月額	年金受取総額																																			
10年確定	約 14.12万円	約 1,965万円																																			
15年確定	約 10.51万円	約 2,375万円																																			
※10年保証終身	約 9.80万円	約 2,768万円																																			
経過年数	年金月額																																				
1年目	約 14.12万円																																				
2年目	約 14.55万円																																				
3年目	約 15.00万円																																				
4年目	約 15.48万円																																				
5年目	約 15.98万円																																				
6年目	約 16.50万円																																				
7年目	約 17.05万円																																				
8年目	約 17.65万円																																				
9年目	約 18.29万円																																				
10年目	約 19.10万円																																				

※60歳男性の平均余命を10年とした場合である。  
 (注)10年保証終身年金の基本年金月額および年金受取総額は、死亡年の関係で、性別および受取人の年金開始時の年齢により異なります。



# 函館商工会議所

## 年金共済発足に当って

### Ⅱ. 制度の特徴および内容

いよいよ今月18日から募集が開始されました年金共済制度につきまして、制度の特徴、内容についての詳細をご説明いたします。

#### 1. 年金共済の特徴

ア、函館商工会議所会員のスケールメリットを生かした給付内容が実現できます。  
※加入者数、掛金総額が大きいほど有利です。

イ、一般の生命保険料控除に加え、満45歳未満で加入された方は、個人年金保険料控除（所得税5,000円、住民税3,500円限度で所得控除）の対象となります。

ウ、配当金は100%加入者に還元されますので、積立制度としても利用できます。

エ、掛金は、加入者の預金口座から自動引き落としいたします。

オ、年金額は、年金開始後の配当金により2年目から毎年増加するなど、対インフレ機能にも期待がもてます。

#### 2. 制度の内容

##### ア、加入対象者

健康で正常に勤務している満58歳未満の函館商工会議所の会員の事業主および役員の方ならどなたでも加入できます。

なお、今回に限り満58歳以上満60歳未満の方も加入できます。

##### イ、掛金の払込方法

月払と半年払および併用もできます。一時払による積立ては、月払または半年払に加入していれば年間2回（口座引き落とし日1・7月の各12日）積立てることができます。

##### ウ、初回掛金の払込時期

最初の口座引き落とし日は、昭和64年1月12日です。

##### エ、掛金の範囲

月払	1口	2,000円	3口～99口
半年払	1口	10,000円	1口～99口
一時払	1口	100,000円	1口～99口

##### オ、加入・増口時期

年2回（2月・8月の各1日）取り扱います。

##### カ、減口時期

己むを得ない事情の場合に限り、年1回毎年の制度発足日付で取り扱います。

##### キ、脱退

随時取り扱います。

##### ク、積立完了年齢

満60歳到達日といたします。但し、引き続き在職しており、継続して掛金の積立てをする場合は満65歳まで延長できます。

##### ケ、年金の受給資格と種類

a、満55歳以上で脱退したときは、10年保証終身年金となります。

b、満60歳以上で脱退したときは、次の

また、合板では安値インドネシア製品の流入増等を背景に市況は軟化しているものの、高級家具・家電向けを中心に生産・出荷とも引き続き順調に推移。

#### (4) 建設関連

住宅着工の増勢鈍化、ホテル建設の衣服等民間建築工事はこのところ落ち着き気味ながら、公共工事が増加（主要5官公庁の6月中発注額前年比+22.9%）していることから土木・建築筋では引き続き繁忙裡に推移。このため、セメントでは高水準の生産を行っているほか、生コン等建設資材の荷動きも好調。

#### (5) 農業

農作物は、このところの低温や日照不足が響き、主力水稻が「やや不良」にあるほか、豆類等も生育が幾分遅れている模様。

#### (6) 漁業

近海マイカ漁は、6月の出足は不漁であったものの、7月に入り、魚群の来遊がみられ水揚げは好転している。もっとも、水揚げ金額は魚価安からなお低調の模様。一方、噴火湾毛ガニ漁は、ほぼ前年並みの水揚げであったが、水揚げ金額は需要増を映じた浜値高から前年を大きく上回って終漁。

#### (7) 消費関連

6月中の市内大型小売店(10か店)の売り上げは、夏物衣料品や高額な身回り品の好売れ行きから、前年比4.0%の増加。7月入り後は天候不順から夏物衣料品の売れ行きが鈍いものの、身回り品、中元贈答品（食料品等）を中心に比較的順調な伸びを示している模様。一方、耐久消費財では、家電

販売は、冷蔵庫等白物家電の売れ行き鈍化等からやや伸び悩んでいるが、自動車販売は商用車を中心に引き続き好調（6月中の管内新車販売台数前年比+6.3%）。

この間、観光面では、青函トンネルブームの持続、青函博開催等を映じて観光客の入込みが増加しており、観光施設、ホテル、土産物店等観光関連筋では活況を呈している。

### 3. 金融事情（6月中）

○実質預金は、建設関連筋を中心に法人預金が増嵩したほか、公金預金も税収好調等から伸長したため、月中121億円の大幅増加（前年は5月末休日に伴う高止まり要因の剥落から月中5億円減）。一方、貸出は、地公体向け貸出の返済が嵩んだものの、建設、卸・小売等の増加運転資金を中心に、月中72億円の増加（前年は預金と同様の要因から月中39億円減）。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、利下げ交渉の進展等を映じて、月中△0.017%と3か月振りに低下（前月+0.014%）。

○銀行券は、公務員ボーナス等の現金需要が嵩んだため、月中では50億円の発行超となったが、発行超幅は観光・レジャー資金の流入増を主因に前年（同68億円）比縮小。

○財政収支は、公共事業関係費、公務員ボーナス等の支払いを中心に月中47億円の払超となったが、払超幅は3月決算法人税を中心とする租税の増収もあって前年（同31億円）比縮小。

6 月

昭和63年 7 月22日

地域の

景気

—— 日本銀行函館支店 ——

1. 概 況

○最近の管内経済動向をみると、このところの天候不順による農作物等への影響が懸念されるものの、個人消費、設備投資の好調持続に加え、公共工事の増加もあって、企業の売り上げ、生産は増勢を持続しており雇用情勢も一段と改善するなど、管内景気は引き続き好調裡に推移している。

○すなわち、製造業では需要の好調持続を背景に、電子部品、合板・製缶機械等が能力増強投資、外注・時間外勤務の拡大により増産を図っているほか、水産加工、乳加工品等でもパート採用増によりフル生産体制に移行している。また、非製造業では、民間建築工事は落ち着き気味ながら公共工事の増加から、土木・建築筋が引き続き活況を呈しているほか、百貨店売り上げ、自動車販売も好調を持続しており、観光関連でも青函トンネルプームの持続等を映じた入込み客の増加等から好調裡に推移。

この間、雇用情勢をみると、水産加工、サービス等の求人増を主因に大幅に改善し、新規求人倍率は1.07倍と十数年振りの高水準。

○金融面をみると、預金は法人預金の増加を

主因に順調であったほか、貸出も、地公体からの返済が嵩んだものの、建設、卸・小売の増加運転資金を中心に堅調。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は3か月振りに前月比小幅低下。

2. 主要業種別動向

(1) 機 械

電子部品では、小型OA機器の好売れ行き等を背景に受注が増加の一途を辿っているため、引き続き能力増強投資により増産体制を強化している。また、受注が急増している製缶機械や、高水準の受注残を抱える合板機械でも外注・時間外勤務の拡大等により一段の増産を図っている。一方、造船では、アルミ漁船等小型船の受注が引き続き順調。

(2) 食 料 品

水産加工では、青函博開催等に伴う土産品需要増や夏場需要期入りにより、問屋筋からの買注文が活発化しているため、パートの採用増等により大方の先がフル生産を続行。また、乳加工品でも需給引き締まりの粉乳やバターを中心に生産、出荷とも好調。一方、飼料・魚油では、国際穀物市況の上伸等から飼料・魚油とも比較的堅調な出荷を続けているものの、原魚イワシの浜値高から生産は抑制気味。

(3) その他製造業

段ボールでは、青果物・水産加工食品向けを中心に比較的高めの生産を続行。漁網でも、沿岸スケソウ・イカ漁向け刺網や、イワシ旋網の更新需要から、出荷は堅調。

## 【製造業】

今期比D I 25.9、前年同期比D I 14.8といずれもプラスを示している。

細業種で見ると、水産加工業、飲食料品業、窯業・土石製品業は今期比、前年同期比ともにD Iがプラスを示しており、業績好転が見込まれる。

## 【卸売業】

今期比D I 34.1、前年同期比D I 34.9といずれもD Iがプラスを示している。

細業種で見ると、燃料業以外は総じて増収が見込まれ、特に食料品業、医薬品・化粧品業、一般機械器具業、建築材料業では、今期比、前年同期比ともにD Iがプラスを示している。

## 【小売業】

今期比D I 32.1、前年同期比D I 40.4といずれもD Iがプラスを示している。

細業種で見ても、業績悪化を予想する業種はなく、各種商品販売業、衣服・身の回り品販売業、食料品販売業、自動車販売業等がそれぞれ、引き続き増収を見込んでいる。

## 【サービス業】

今期比D I 57.7、前年同期比D I 69.3を示し、いずれも大半の企業が「増加」と回答している。

細業種で見ても、各業種とも業績好転を予想しているが、特にホテル・旅館業は、観光シーズンを迎えて、青函博開催等により今期比、前年同期比とも100%の企業が「増加」と回答し、増収を見込んでいる。

## 3. 資金繰りについて

来期の資金繰りについては、全業種で今期に比べ「好転」とみる企業14.8%に対し「悪化」とみる企業4.1%でD I 10.7を示しているが、「変わらない」とする企業が81.1%もあり、ほぼ今期並みに推移される見通しである。

これを業種別にみると、建設業D I 0.0、製造業D I 0.0、卸売業D I 14.0、小売業D I 12.2、サービス業D I 34.7を示しており、サービス業が好転を予想しているが、他は7割以上の企業が「変わらない」としている。

## 統 計 資 料

第一種函館市内大規模小売店舗売上高（10店） 昭和63年 6月

品 名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣 料 品	2,701,519	94.6	103.7
身 回 品	512,093	95.7	111.9
雑 貨	526,344	81.2	100.9
家 庭 用 品	600,671	93.6	98.3
食 料 品	1,513,403	94.9	103.9
食 堂 ・ 喫 茶	163,393	88.9	97.7
サ ー ビ ス	90,933	92.8	173.4
そ の 他	604,179	129.4	103.4
総 計	6,712,535	95.6	104.0

※10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパーズプラザ湯の川店の各店をいう。

図-4 今期の資金繰り (対前期比)

	(D.I)	好転	横ばい	悪化
全業種 (12.9)	18.4	76.1	5.5	
建設業 (18.5)	22.2	74.1	3.7	
製造業 (1.8)	12.5	76.8	10.7	
卸売業 (14.0)	16.3	81.4	2.3	
小売業 (10.0)	14.0	82.0	4.0	
サービス業 (36.0)	40.0	56.0	4.0	

## 5、経営上の問題点

今期最も苦慮している経営上の問題点としては、やはり「売り上げ・受注の不振」をあげる企業が多く、全業種で22.7%を占めている。

この「売り上げ・受注の不振」を業種別にみると、建設業28.6%、製造業36.5%、卸売業18.2%、小売業16.3%、サービス業 4.2%となっている。

他に経営上の問題点をみると、建設業では「景気の見通し難」14.3%、製造業では「製品安」22.4%、卸売業では「販売価格の値下り」20.5%、「流通経費の増加」18.2%、「人件費の増加」11.4%、小売業では「人件費の増加」・「求人難・人材難」がそれぞれ18.4%、「純利益の減少」が16.3%、サービス業では「同業者の競合」が58.2%と過半数を占め、次いで「求人難・人材難」16.7%等となっている。

## 来期 (7月～9月) の見通し

### 1、業況について

函館地域企業の来期業況見通しを全業種でみると、今期に比べ「好転」とみる企業38.0%に対し、「横ばい」企業53.1%、「悪化」とみる企業 8.9%でD Iは29.1とプラス、また前年同期比でみると、「好転」とみる企業41.4%に対し、「悪化」とみる企業 6.7%でD I 34.7とプラスを示している。

業種別にみると、今期比では建設業D I 0.0 製造業D I 26.7、卸売業D I 32.6、小売業D I 34.0、サービス業D I 50.0と、建設業以外

はD Iがプラスを示している。

また、前年同期比でも建設業がやや慎重ながら、他はD Iがプラスを示し、好転を見込んでいる。

このように来期業況見通しは、建設関係がやや慎重な見方をしているが、個人消費、観光関係を中心に総じて一層の好転が予想される。

図-5 来期の業況見通し (対前年同期比)

	(D.I)	好転	横ばい	悪化
全業種 (34.7)	41.4	51.9	6.7	
建設業 (-3.5)	17.9	60.7	21.4	
製造業 (32.2)	37.3	57.6	5.1	
卸売業 (35.6)	40.0	55.6	4.4	
小売業 (44.3)	48.1	48.1	3.8	
サービス業 (61.6)	65.4	30.8	3.8	

### 2、売上額について

来期の売り上げ見通しを全業種でみると、今期に比べ「増加」とみる企業44.8%に対し、「横ばい」企業41.8%、「減少」とみる企業13.4%でD I 31.4とプラスを示し増収を予想しており、前年同期比でも「増加」企業41.7%に対し、「横ばい」企業47.7%、「減少」企業10.6%でD Iは31.1とプラスを示している。

図-6 来期の売り上げ見通し (対前年同期比)

	(D.I)	増加	横ばい	減少
全業種 (31.1)	41.7	47.7	10.6	
建設業 (0.0)	20.8	58.4	20.8	
製造業 (14.8)	25.9	63.0	11.1	
卸売業 (34.9)	44.2	46.5	9.3	
小売業 (40.4)	50.0	40.4	9.6	
サービス業 (69.3)	73.1	23.1	3.8	

次に、来期の売り上げ見通しを業種別にみると、

#### 【建設業】

今期比D I 8.4、前年同期比D I 0.0と、住宅建築の一服状態もあり、やや慎重な見方をしている。

細業種でみると、各業種ともほぼ横ばい状態を予想している。

示している。

細業種でみると、設備工事業はほぼ横ばい状態だが、総合工事業と職別工事業はD Iがプラスを示している。

このように今期の建設業界は、住宅建築が一服状態ながら、公共事業の発注額は前年実績を大きく上回り、好調に推移した。

### 【製造業】

今期の生産額は、前期比D I 20.0、前年同期比D I 0.0と、前期比ではD Iがプラスを示している。

細業種でみると、造船業等一部の業種を除いて各業種ともに比較的上向いており、特に水産加工業、飲食料品業、窯業・土石製品業は前期比、前年同期比ともにD Iがプラスを示し、業績は好転している。

### 【卸売業】

今期の売上額は、前期比D I 45.7、前年同期比D I 44.2を示し、いずれも過半数の企業が「増加」と回答している。

細業種でみると、燃料業が依然として業績悪化を訴えている以外は、織物・衣服・身の回り品業、食料品業、医薬品・化粧品業、一般機械器具業、建築材料業等それぞれD Iがプラスを示し、増収基調で推移した。

### 【小売業】

今期の売上額は、前期比D I 36.5、前年同期比D I 41.5を示し、いずれも過半数の企業が「増加」と回答している。

細業種でも、各種商品販売業、衣服・身の回り品販売業、食料品販売業、自動車販売業等各業種ともD Iがプラスを示し、好調な伸びをみせており、特に高水準の販売実績を続ける自動車販売業では、「減少」と回答した企業はなかった。

### 【サービス業】

今期の売上額は、前期比D I 44.0、前年同

期比D I 53.9を示しており、いずれも過半数の企業が「増加」と回答し、業績は一層好転している。

細業種でみると、クリーニング・理美容業がやや慎重な見方をしている以外は順調に伸びており、特に活況を呈す観光関係では、シーズンに入ってますます上向き、ホテル・旅館業が高実績をあげている。

図-3 今期の純利益（対前年同期比）

	(D.I)	増加	横ばい	減少
全業種 (17.8)		37.5	42.8	19.7
建設業 (3.5)		21.4	60.7	17.9
製造業 (12.1)		36.2	39.7	24.1
卸売業 (20.0)		37.8	44.4	17.8
小売業 (19.2)		42.3	34.6	23.1
サービス業 (40.0)		48.0	44.0	8.0

## 3, 純利益について

今期の純利益を全業種でみると、前期に比べて「増加」している企業27.6%に対して、「横ばい」企業54.8%、「減少」している企業17.6%でD I 10.0とプラスを示しており、前年同期比でも「増加」企業37.5%が「減少」企業19.7%を上回ってD I 17.8とプラスを示し、増益傾向となった。

業種別にみると、製造業の水産加工業、窯業・土石製品業、卸売業の一般機械器具業、建築材料業、小売業の各種商品販売業、自動車販売業、サービス業のホテル・旅館業、自動車整備業等が、特に増益基調で推移した。

## 4, 資金繰りについて

今期の資金繰りを全業種でみると、前期に比べ「好転」した企業18.4%に対し、「悪化」した企業5.5%でD Iは12.9を示しているが、「変わらない」とする企業が76.1%を占め、ほぼ前期並みに推移した。

業種別にD Iをみると、サービス業（D I 36.0）が大幅に好転しているが、他はすべて7割以上の企業が「変わらない」としており、前期並みに推移した。

経済の窓

(昭和63年度 第1・四半期)

景気動向  
調査

昭和63年度第1・四半期（昭和63年4月～6月）の函館における景気動向調査結果がまとまりましたので概況をお知らせします。

尚、調査対象及び回収状況は次の通りです。

業種別	対象企業数	回収企業数	回収率
全業種	395社	275社	69.6%
建設業	50	33	66.0
製造業	100	75	75.0
卸売業	80	62	77.5
小売業	120	73	60.8
サービス業	45	32	71.1

(注) 本調査結果の中でD Iとある記号は、  
ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値を示しています。

今期（4月～6月）の実績

1. 業況について

函館地域企業の今期業況を全業種で見ると、前期に比べ「好転」している企業45.0%に対し、「横ばい」企業47.4%、「悪化」している企業7.6%で、D Iは37.4とプラスを示し一段と好調感を増している。

これを業種別にみると、建設業D I 28.6、製造業D I 27.1卸売業D I 50.1、小売業D I 39.6、サービス業D I 44.0と各業種ともD Iは大きくプラスしており、特に卸売業とサービス業では過半数の企業が「好転」と回答している。

また、今期の業況を前年同期比で見ると、全業種では「好転」企業46.9%に対し、「横ばい」企業37.8%、「悪化」企業15.3%で、D Iは31.6を示し好転している。

これを業種別にみると、すべての業種でD Iがプラスを示しているが、特に卸売業（D I 44.2）とサービス業（D I 53.9）が好調に推移した。

このように今期の業況は、公共事業の発注額が前年実績を上回り、個人消費や観光・サービス関係も好調に伸びる等、一般と良好感を増している。

図-1 今期の業況（対前年同期比）

	(D.I)	好転	横ばい	悪化
全業種 (31.6)		46.9	37.8	15.3
建設業 (28.7)		42.9	42.9	14.2
製造業 (8.5)		33.9	40.7	25.4
卸売業 (44.2)		53.5	37.2	9.3
小売業 (37.8)		49.1	39.6	11.3
サービス業 (53.9)		65.4	23.1	11.5

2. 売上額について

今期の売上額の状況を全業種で見ると、前期に比べ「増加」している企業45.6%に対し、「横ばい」企業40.3%、「減少」している企業14.1%で、D Iは31.5と大幅にプラスを示し増収傾向を強めた。

図-2 今期の売上額（対前年同期比）

	(D.I)	増加	横ばい	減少
全業種 (28.5)		46.4	35.7	17.9
建設業 (14.3)		25.0	64.3	10.7
製造業 (0.0)		28.1	43.8	28.1
卸売業 (44.2)		62.8	18.6	18.6
小売業 (41.5)		54.7	32.1	13.2
サービス業 (53.9)		65.4	23.1	11.5

また、今期の売上額を前年同期比で見ると、全業種では「増加」企業46.4%に対し、「横ばい」企業35.7%、「減少」企業17.9%で、D I 28.5とプラスを示している。

次に売上額を業種別にみると、

【建設業】

今期の工事完成額は、前期比D I 10.7、前年同期比D I 14.3といずれもD Iがプラスを